

製品仕様

■ 共通仕様

装置仕様	温度範囲	0～50℃
	湿度範囲	RH10-90%

■ 信号処理モジュール（CMSS-CX）

通信方式	LAN	10Base-T / 100Base-TX / 1000Base-T 準拠 ※拡張用1口も同様
電源方式	供給電源	AC電源入力 (50/60Hz 85V～264V)
外形寸法(mm)	128H×80W×150D (奥行 D はDINレール含む、突起部含まず)	
診断ソフト	「サーバモデル」「WEBサーバ機能搭載モデル」の切替方式	
振動診断 周波数範囲	Disp (変位)	10/20/30Hz～250Hz
	Lo (速度)	3/5/10/20/30Hz～1kHz
	Md (加速度)	3Hz～10kHz
	Hi (加速度)	1k/2k/5k/10kHz/スルーでENV処理
測定ファンクション	振動：RMS (AVE)、PEAK、KURTOSIS、アナログ：AVE	

※終端モジュール装置（CMSS-TM）が必要

■ 電圧型振動入力モジュール（CMSS-VA8）／電荷型振動入力モジュール（CMSS-VC8）

装置仕様	入力CH数	8CH
	接続方式	BNCコネクタ
	外形寸法(mm)	128H×40W×150D (奥行 D はDINレール含む、突起部含まず)
最大実装数	4枚 (32CH)	

※センサタイプに応じて電圧型または電荷型を選択

■ アナログ入力モジュール（CMSS-AI8）

装置仕様	入力CH数	8CH
	入力仕様	電圧(±10V、0-10V、0-5V、1-5V)または電流(4-20mA) 本装置の切替SW(CH毎)により電圧／電流入力に切替可能
	ADサンプリング	16bit
	接続方式	コネクタ式 (MILコネクタ)
	外形寸法(mm)	128H×40W×150D (奥行 D はDINレール含む、突起部含まず)
最大実装数	2枚(16CH)	

■ デジタル入出力モジュール（CMSS-D8/4）

装置仕様	入出力CH数	入力 (DI) 8CH 出力 (DO) 4CH
	入力仕様	内部駆動電圧 24V 許容電流10mA 本装置のSW (モジュール毎) により内部／外部電源に切替可能
	接続方式	コネクタ式 (MILコネクタ)
	外形寸法(mm)	128H×40W×150D (奥行 D はDINレール含む、突起部含まず)
インジケータ	入力インジケータを搭載 (DI信号ON時に点灯)	
最大実装数	2枚(DI16CH/DO8CH)	

■ 動作確認済み環境

OS	Windows 7 SP1、Windows 10 Pro
ブラウザ	Internet Explorer11以上、Microsoft Edge、Google Chrome

⚠ 安全にお使い頂くために ご使用の前に取扱説明書をよく読み正しくお使い下さい。

本カタログ仕様は製品改良のため変更することがあります。

記載されている会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

お問い合わせ

日鉄テックスエンジニア株式会社 電計事業本部

■ 営業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル TEL：03-6860-6630

■ 商品ソリューション事業部 計測検査1部 診断ソリューショングループ

〒805-8555 福岡県北九州市八幡東区前田大塚1320-4 TEL：093-288-5919

<https://www.tex.nipponsteel.com>

オンライン設備診断 WEBサーバ機能搭載診断装置



ミニマム構成・サーバレス
で初期投資は抑えめに

診断機能が充実

診断データを長期保存

大規模システムへ拡張可

特 長

■ 専用サーバは**必要ありません**。

■ 監視点数に応じて**最適なモジュールを組合せることができます**。

- (1) 振動は、8CH入力モジュールを最大4枚連結 ※1
- (2) アナログ（温度／湿度等）は、8CH入力モジュールを最大2枚連結 ※2
- (3) 運転（DI）／警報（DO）信号は、8CH／4CH入出力モジュールを最大2枚連結

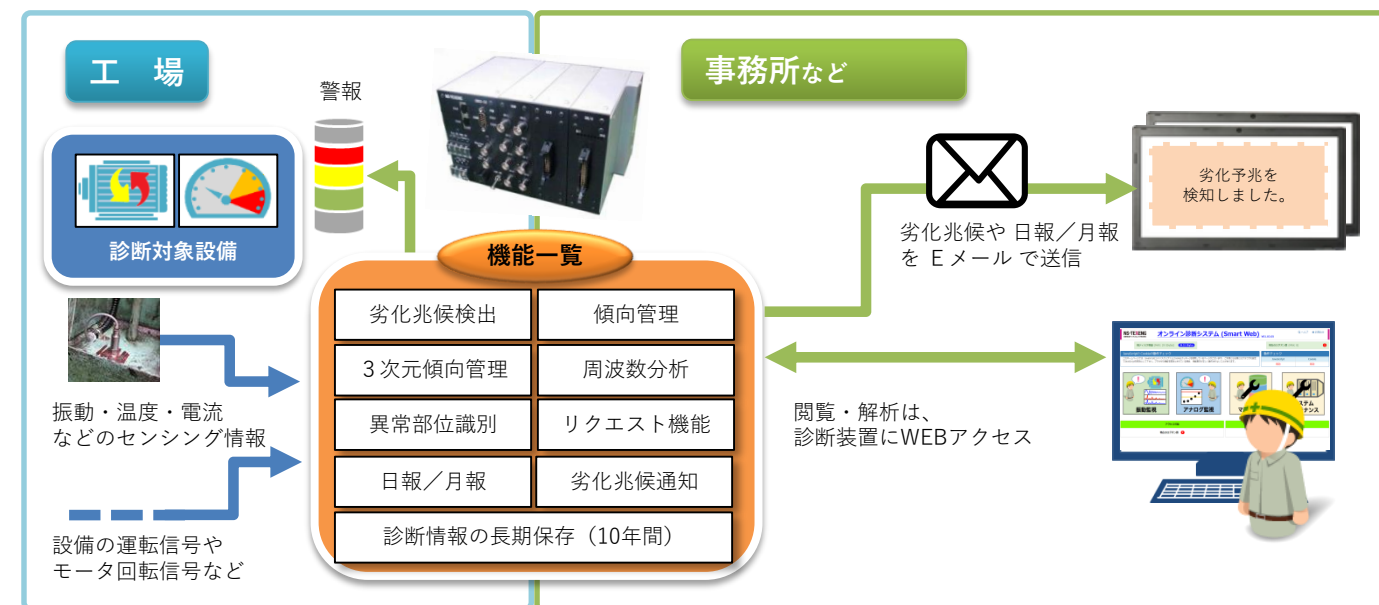
■ DINレール方式を採用。盤内に**容易にレイアウト**できます。

■ **最大10年間**の傾向管理データを装置内に保存できます。

■ 劣化兆候や日報／月報を**Eメールで送信**できます。

■ サーバモデル（大規模オンライン設備診断システム）への拡張もできます。

※1：振動診断の回転信号と兼用
※2：推奨設定による



概 要

本装置は、監視点数に応じて自由に組合せることができる**モジュール連結方式**です。
CMSS-CX内にWEBサーバ機能を搭載し、**小規模分散型の設備監視システム**として使用できます。

<小規模分散型を使用するメリット>

- 設備監視点数に応じた最小構成で組合せることで**イニシャルコストを低減**
- サーバシステムを必要とせず、**複雑な設定が不要**

また、CMSS-CXの内蔵ソフトを「**サーバモデル**」^{※3}専用ソフトに変更することで、**大規模型の設備監視システム**にも移行できます。

※3：別途、サーバが必要

装置外観



参考：“振動モジュール:2枚”、“アナログモジュール:2枚”、“デジタル入出力モジュール:1枚”

機 能

■振動診断機能



- ・簡易診断
- ・周波数分析
- ・異常部位識別
- ・リクエスト診断
- ・3次元傾向管理
- ・回転補正
- ・2段階判定
- ・日報月報

■システムメンテナンス機能



- ・システム異常通知
- ・ログ・アクセス管理
- ・機器状態管理
- ・保全履歴管理
- ・診断結果出力（CSV形式）

■アナログ診断機能



- ・簡易診断
- ・リクエスト診断
- ・上下限2段階判定
- ・日報月報

■マスタ管理機能

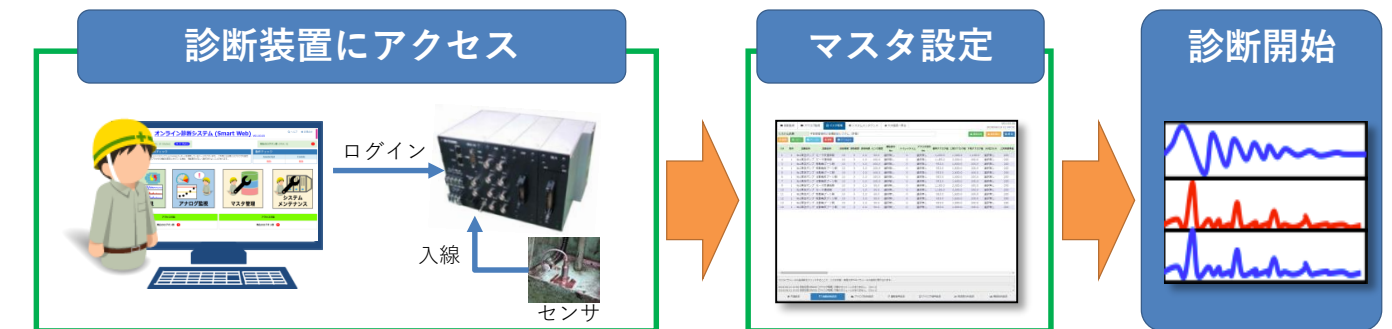


- ・各種マスタ管理
- ・ベアリングデータベース

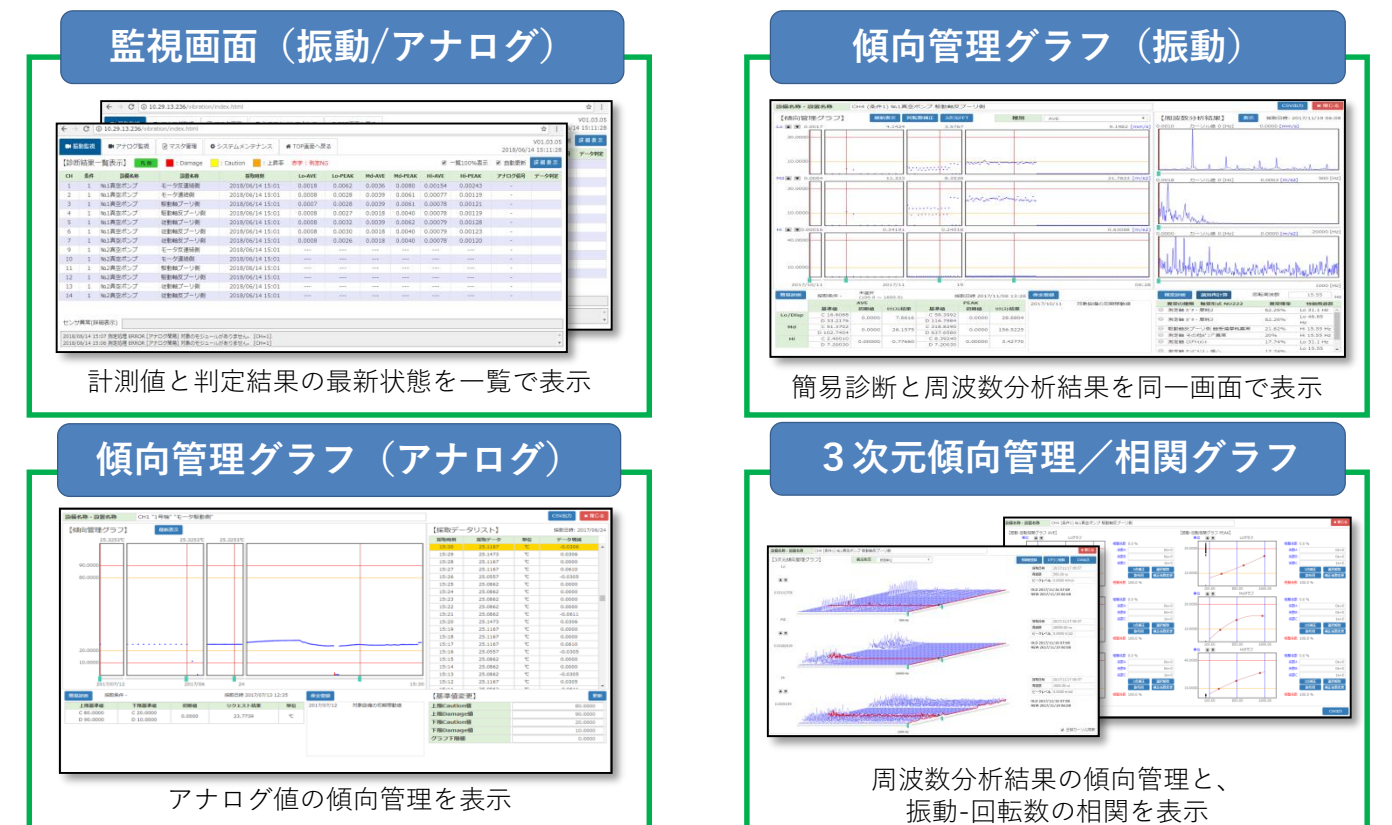
導入と診断画面

<導入>

センサを接続後、パソコンからログインして簡単な手順で設備診断を開始できます。

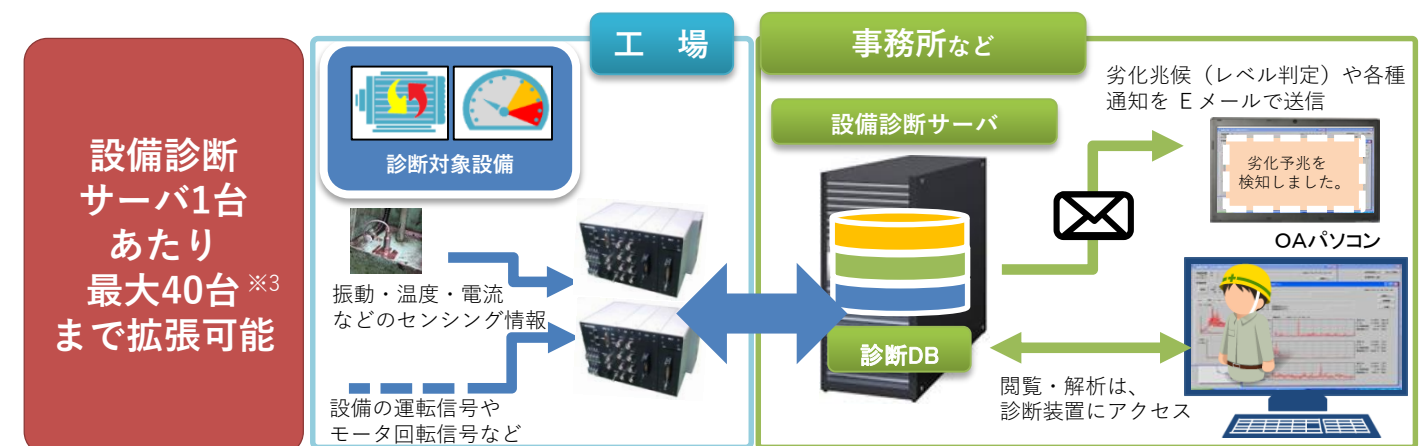


<診断画面例>



大規模点数への拡張

設備診断サーバと診断装置ソフトの変更により、大規模点数の監視ができます。



※4：設備診断サーバ1台で診断点数700点の管理が可能です